



第 019 号

発行者 大仙市手をつなぐ育成会
 発行責任者 柴田 貞二
 TEL 0187-65-2525
 事務局 〒014-0802
 大仙市払田字念佛谷地27-1
 新田亮子 TEL 0187-69-3108

発行日 2017-12-5

第59回

手をつなぐ育成会秋田県大会(大仙・仙北・美郷大会)

大会スローガン	「互いに人格と個性を尊重できる、豊かな共生社会をめざそう」		
期日	平成29年9月17日(日)	会場	仙北ふれあい文化センター



大仙市での開催は10年振りになりました第59回大会、上記の日程で開催されました。述べ400人以上の参加を頂き、盛会の内に終了しました。

詳細の記録は「秋田県手をつなぐ親たち」第55号を参照して下さい。

開催の準備には大仙市手をつなぐ育成会から5人の実行委員を輩出し、昨年の12月から6回の実行委員会を開き、開催までの準備をして来ました。

大仙市育成会の会員、本人を含めて30人の参加者でした。

大会宣言

(大仙市手をつなぐ育成会副会長)

2



私たちは障害者権利条約の批准の下、知的障がいのある本人とその家族が「地域との温かい交流を通した共生社会」の実現を目指して、自らが活動するとともに社会環境の整備や福祉サービスの充実など強く要望してまいりました。

・・・略

知的障がいのある人やその家族、関係施設等が望む地域において安心して他の人々と共に支え合うことのできる地域づくりを目指し、本大会の名において以下の事項を要望し早急に実現されるよう宣言します。

1. 大災害時に備えて知的障がいのある人のための福祉避難所を準備すること。
2. 障害者支援施設等における入所者等の安全を確保するため、さらなる防犯措置を徹底するため、関係機関との連携体制を強化すること。
3. 障がいのある生徒の卒業後の進路指導を充実すると共に、長期間での支援体制を位置付けること。
4. 障がいのある人たちの働く意欲を尊重し、さまざまな分野での就労支援制度の拡充を図ること。
5. 知的障がいのある人の高齢化に伴い、医療を必要とする障がい者が増加していることから、介護や医療を提供できる施設を早急に整備すること。
6. 介護保険の適用が六十五歳を境に機械的な対応とならないよう計画相談を充実させること。
7. 意思決定支援の充実などにより個の主体性を尊重すると共に、本人を主体にしての権利が擁護されるよう成年後見制度を見直し、利用しやすい環境を整備すること。

以上を宣言案とします。 平成29年9月17日 第59回手をつなぐ育成会秋田県大会
大仙・仙北・美郷大会

私たちの大会宣言

・私たちの大会宣言を朗読する皆川直美さんです。

今日は県内各地からお集まりいただき、ありがとうございます。

私たちが望む場所で、安心して楽しく暮らしていくために、次のことが実現できるよう、関係者のみなさん応援してください。

- 1.私たちの意見や希望を聞いてください。
- 2.私たちが安心して働けるように、仕事や訓練をする場所を増やしてください。
- 3.私たちが利用できる場所を増やしてください。
- 4.私たちが楽しめる場所をたくさん作ってください。
- 5.自立した生活を送ることができるよう、お手伝いをする機関を作ってください。
- 6.いじめや虐待、差別がなくなるようにしてください。

以上、大仙・仙北・美郷地区から県内の仲間とともに、私たちが自分らしく暮らしていくように、関係機関に要望します。

平成29年9月17日 第59回手をつなぐ育成会秋田県大会大仙・仙北・美郷大会本人大会



参加者の仲間達



アトラクションが始まりました。二階に上がり、ステージを眺めました。ほとんどの席が埋まっておりました。おどろきです。



知事表彰、育成会会長表彰を受賞された方々です。おめでとう御座います。



各地区から、ご参加頂いた地区育成会役員の方々です。

平成29年度交流・親睦会



今年の開催は10月12日(木)奥羽山荘にて開催しました。参加者は写真から19名になっています。

今年は秋田県議会議員の加藤麻里さんが賛助会員の立場で参加して頂きました。会話がはずみ常日頃のストレスを発散できた交流会でした。



垣根に咲いている花は…



今年も雨降りです。それでもグランドゴルフに挑戦です。挑戦者は10名、最初から室内競技場にて競技開始です。コースも工夫があり、障害物とする工作物を置いていた、打球を邪魔する役目です。それでもホールに入ると歓声が起こる。皆さん、楽しんだことが分ります。

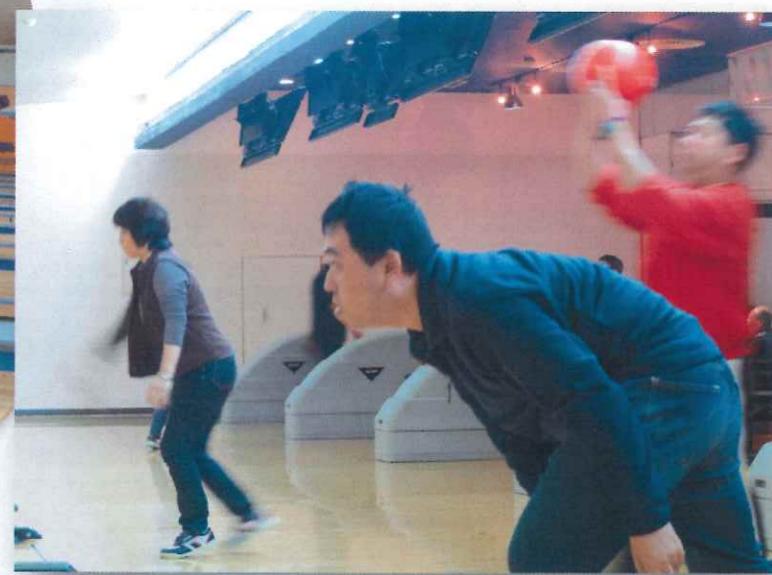
第5回・ボーリングとカラオケに集まれ!

本人活動支援事業

とき 平成29年11月25日(土)
ところ 仙北ファミリーボウル



本人活動支援事業として今年で5回目になります。大仙市の入所施設での利用者、在宅にて諸支援施設で頑張っている利用者、保護者、一般の方々に参加の声掛けをしました。本人が12名、保護者が14名、会員・賛助会員等が4名ほど、全体で30名ほどの参加者でした。ボーリング8レーンを独占、2ゲームを競技しました。集合時間9時です。準備体操を終えて競技開始です。



格好いいホームの連続です・・ボールの行方を心配そうに眺めていました。

成績表

6

順位	選手名	HDCP	グロス	ネット	摘要
優勝	向平 慶一	30	212	242	昨年は準優勝でした。
準優勝	加藤 淳	40	192	232	12位から準優勝
第3位	三浦 健治	40	188	228	16位から3位
第4位	藤原 聰	30	193	223	優勝から4位、残念
第5位	鈴木 彩恵	30	189	219	14位から5位
第6位	高橋 修	30	189	219	3位から6位、残念
第7位	佐藤 智昭	40	176	216	6位から7位
第8位	奥山 裕幸	40	162	202	5位から8位、残念
第9位	加藤 千春	40	155	195	10位から9位
第10位	茂木 望	40	153	193	13位から10位
第11位	西鳥羽和人	40	148	188	9位から11位、残念
順位外保護者1位	高橋 伊明	0	276	276	昨年はデーターなし
同 最下位	西鳥羽友子	0	167	167	25位に該当
会長	柴田 貞二	0	223	223	全体の11位に該当
賛助会員	加藤 麻里	0	231	231	全体の8位に該当

ボーリング競技の成績は上図の通りです。優勝しました向平君、昨年まで優勝していた藤原君を破って初優勝です。優勝インタビューが忘れていました。ご免ね…来年も頑張って下さい…拍手…拍手…

カラオケコーナー



カラオケの始まりです。
3部屋を確保、一部屋に5人は利用できます。
筆者は演歌しか覚えていない。今はやりはなんの種類の音楽であるか、早口の歌は何度聴いても覚えることが出来ない。いつも簡単に謳える…教えて…教えて…

用語集(1)

7

私達の周囲には福祉用語には聞きなれない言葉が氾濫している。東京は「新宿区手をつなぐ親の会」発行の「人生の主人公として生きるための26の権利」という別冊を育成会を通して手に入れた。内容は専門分野の大学の先生たちの講演内容が主な内容。伝えるのには難しい整理が必要。その中で唯一理解できる条項あり、「用語集」である。それも難しい言葉が続く。秋田言葉に直して、記載する事にした。

用語	説明文
アセスメント	福祉の分野では、自立した日常生活を営むために、本人が現在抱えている解決すべき課題を把握すること。学校教育の分野では、実態把握といわれます。子どもの発達を全体的にとらえるために、行動を正確に観察したり、心理検査をしたり、チェックリストなどを使って子どもの心理、行動、学習面の発達状況をできるだけ正確に把握することを指します。就労のためのスキル(手練)の判定も含みます。
意思決定支援ガイドライン	意思決定支援の質の向上や均質化を図るために、その定義や意義、標準的なプロセスであるサービス等利用計画や個別支援計画の作成と実施、意思決定の前提となる情報伝達などの留意点をまとめたものです。
意思決定能力	自ら自律的に意思を決定する能力です。
強度行動障害	嗜みつき、頭突き、睡眠の乱れ、場所や人へのこだわり、多動、飛び出し、器物損壊、自傷行為などが頻繁に出現し、普通の養育環境では著しく対応が困難な障害のことです。
グループホーム(共同生活援助)	専従スタッフがいる家庭的な雰囲気の中で共同生活を行う住居で、障害の程度によっては、入浴、食事、排せつなどの介護を行い、地域生活を支援します。
権利擁護	知的障害、精神障害、認知機能の低下などのために、自分で判断する能力が不十分だったり、意思や権利を主張することが難しい人たちのために、代理人が権利の主張や自己決定をサポートしたり、代弁して権利を擁護したり表明したりする活動のこと。
ケースワーカー	知的、身体もしくは精神上の問題、経済上もしくは家族上の理由によって、日常生活を送るうえでの困りごとを持つ地域住民の相談支援を行う人です。相談内容は、生活保護に関するものから高齢者や病気を抱えている人の介護、さらに不登校のことまで多岐にわたります。
行動障害	発達障害や知的障害のある人々の、環境への不適応を意味します。パニック状態(激しい不安、興奮、混乱)の結果、多動、疾走、奇声、自傷、固執、強迫、攻撃、不眠、拒食、異食などの行動上の問題が、日常生活などで表出することをいいます。
個別支援計画	学習や職業訓練、生活指導、余暇活動などに関して関係機関の間で共有する計画です。「本人に必要なこと」「生活がワクワクするような楽しいこと」「これから将来に向かってこんなことを頑張ってみよう」以上の三点が含まれた計画であればいいなあ…

大仙市手をつなぐ育成会

入会のご案内

大仙市提供



障がい（児）者をもつ保護者として、悩みや要望を語り合ったり
福祉の増進のために活動する仲間になりませんか！

りねん 「利用者の一一番のプロは私達 未来を作る出会いに夢を持つ」

◎ 会員 大仙市に住む障がい児）者の保護者 ◎ 賛助会員 この主旨に賛同する方 地域問わず

◎ 年会費 会費 2,000円 賛助会員 2,000円以上

◎ 入会申込先 会長 柴田貞二 Tel0187-65-2525 ◎ 事務局 新田亮子 Tel0187-69-3108

※ 入会の申込者には入会申込書、振込み用紙を送ります。

賛助会員名

平成29年11月30日現在

武田 雄平 様	泉 繁夫 様	佐藤 育男 様	福岡 恵子 様
渡部 英治 様	樺尾 茂 様	鈴木 明 様	佐藤トミエ 様
佐藤 芳郎 様	千馬 洋子 様	高橋 慶子 様	佐藤 節郎 様
古谷 武美 様	村上 哲朗 様	斎藤 信志 様	大森 徹 様
鎌田 英寿 様	高橋 輝明 様	出竹 潔 様	
茂木建設(株) 様	中野 昭満 様	加藤 麻里 様	22名様

左記の方々が平成29年度の賛助会員の皆様です、遠くは東京、青森、秋田市等から、皆様のご支援に感謝申し上げます。資金の有効利用については定例の活動の他に会員を増やす為の広報活動に使用しています。

この機関紙が当初、70部100部、150部と発行部数が増えています。これも賛助会員の皆様のお陰です。さらに会員も少しですが増える傾向にあります。今後ともご支援のほどお願いします。

大仙市知的障がい者相談員

飛澤ヒロ子(小貫高畠)	0187-62-3715	藤原正人(協和船岡)	018-893-2139
進藤 功(六郷西根)	0187-65-2622	新田亮子(払田)	0187-69-3108
工藤正悦(北檜岡)	0187-72-3333	高橋哲美(太田町)	0187-89-1139

※在宅支援や障がいのある方の身近な相談役として活動しています。秘密は厳守しますので、普段の生活のことや障がいのことなどをご相談ください。なお、相談員に関する事は社会福祉課に問い合わせ下さい。

大仙市社会福祉課 Tel0187-63-1111(内線162番)

※ 秋田県手をつなぐ育成会・H・Pアドレス <http://www.akita-ikuseikai.jp/>

編集後記

平成29年度、2回目の機関紙発行です。大仙市手をつなぐ育成会の今年度事業は大半終了しました。本人活動支援事業を含めて役員皆様の労に感謝申し上げます。今年の最大の行事は第59回手をつなぐ育成会秋田県大会が大仙市で開催されたことになります。各行政機関の支援のもとに大仙市・仙北市・美郷町の各育成会の会員皆様の頑張りによって、盛会の内に終了できました。10ヶ月ほどの準備期間があり、6回ほどの実行委員会開催を通して、困難な案件も目標を一つにした活動も有意義な時間帶でした。次回は10年後、若い人たちが主人公になります。大会の内容を記した冊子も出来上がっています。参考に成れば幸いです。 Teiji